

【提言にむけて】

◎人口減少社会対策にむけて、以下の2つの“まちづくり”を提言。

★過疎地域の持続可能な“まちづくり”

上越市の中山間地域では人口減少は止まらない。過疎地域の少子高齢化の進行により、地域の行事やコミュニティの維持が困難になっている。しかしそこに人が生活しているかぎり存続させていかなければならない。そして地域を元気にするには、まずはその地域に暮らす人が危機感をもって動きださなければならない。地域主体の“まちづくり”を目指すことが第一にあると考える。しかしそれだけでは難しいのが現実であるため、外からの移住定住の促進と交流人口の拡大に努めることが必要である。

そのためには上越市の魅力を再認識すること、新しい魅力を創りだしていくことが重要である。少子化による人口減少だけでなく、上越市から外へ出て行く人も多く社会減少も大きな問題であるため、外に出て行く人を減らすことも考えていかなければいけないが、外に出て行っても故郷を思う気持ちを強くもってもらうこと、上越市出身の人や、上越市に関わりのある人との関係を大切に、さらにはこれから上越市と関わりをもってくれる人を増やしていかなければならない。

〔提案〕

●「地域おこし協力隊」の拡充

現在は農業従事者が多いが、もっと地域振興、スポーツなど多様な活躍を担う分野にも拡充する。3年の任期後、さらに地域に定着してもらうために、市独自で財政支

援や減税支援など期限を決めて行う。

★若い世代の魅力を考え、女性が魅力を感じる“まちづくり”

上越市の未来を担う若者の流出をおさえなければいけない。特に若い女性が上越市で働き、生活し活躍できる街にしていかなければいけない。

〔提案〕

●「若者会議」の実施と、若者の居場所を創る。

高校生を対象に若者の意見を聴く会を設ける。特に女性の声を聴く。相模原市の「シビックプライド条例」のような条例制定は考えないが、上越市の「シビックプライド」を若者目線で作成して、若者への上越市定着促進を計る。

若者の意見から何かヒントを得て、若者が集う魅力ある上越市にできないか。テーマパークなど、若者の居場所づくり等を創ることに努める必要があると考える。

さらに上越市の未来を担う小中学生の声も聴いて、小中学生に対しても、上越市の魅力を醸成することを希望する。

今後も、できることから人口減少対策を行っていく。